

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表(ばけっと)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			配置基準は満たしています。本体施設のスノーズレン室やおもちゃ図書館、グラウンドでも活動しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者1名 児童指導員、保育士4人以上配置のところ現時点、児童指導員3人、保育士4人、指導員4名配置となっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	室内外に段差があり、バリアフリー化にはなっていません。改善出来る箇所は出来る範囲内で改善し、段差のある個所の移動については留意して支援しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			改善内容について、テーマを選定し取り組んでいます。また、進捗状況等について会議で確認しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			H29年度からは、ガイドラインに沿った自己評価を実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所広報紙やホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価はしていません。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修の他、事業所見学、本体施設が開催する職場研修に出席、研鑽の機会としています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年1回はアセスメントを行い、サービス計画作成にあたっては、子どもや保護者からニーズを確認しながら放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		より使いやすいものにするため検討してきたいと思っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の事業所会議で活動内容について検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			創作的活動、音楽活動、健康的活動、調理、買物などの実施、季節行事を取り入れるなど工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇や休日しかできない活動等を取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じて、個別的な活動、集団的活動の内容の計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、送迎や活動等の確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了後、送迎での家族からの話や支援の振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々、個別の支援記録に記載しています。モニタリングの際に共有し、支援の検証をしています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定められた期間でモニタリングを実施し、計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			創作的活動、音楽活動、健康的活動、調理、買物、季節行事等を取り入れています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援責任者や利用児童の状況がわかる職員が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			年度はじめに支援学校との情報交換会があり、年間計画をいただいています。また、必要に応じて、学校迎え時などに確認しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	現在、医療的ケアが必要な子どもは利用していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		情報が不十分の時は、家族や保育所等に確認を行いながら、情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			個人情報の取り扱いについて、保護者から了承を得ており、要請があった場合に提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて助言を受けられる体制があります。また、専門機関主催の研修等にも積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		放課後児童クラブとの交流について、実施予定となっています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の自立支援協議会こども分科会へ参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや、日々の送迎時などで状況を伝えるとともに、モニタリングの際などにも、児童の状況について確認をしあっています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		合同サロン事業で保護者向けに研修会等を実施しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約の際、重要事項説明書にそって説明を行い、随時サービス内容については、説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			サロン事業や普段の送迎時等に保護者の悩みを傾聴し、助言等の支援をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は組織化されていません。保護者交流会(サロン事業)を実施し、連携を図れる場としています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決マニュアルに従い対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、事業所便りや行事予定を配布し情報発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報保護マニュアルに従い対応しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的な情報伝達を工夫したり、文書にルビをふるなどとしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今年度、地域の方に参加を呼びかけ研修会を開催予定です。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	今年度、マニュアルについては、全般的に見直しを行っています。保護者等への周知については、事業所だより等を通じて発信できるようにしていきたいと考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回、避難訓練を実施しています。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人グループ内の研修に参加しているほか、外部研修を受講しています。また、会議で虐待に関するミニ研修を実施しています。人権侵害自己チェック表を各自が毎月記述し、虐待防止に対する意識を高めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		本体施設のガイドラインに基づき対応しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者からの情報を得て対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所会議でインシデント、アクシデントを分析、その都度状況の確認と対策の共有を図っています。